

言語文化 単元指導計画

日時	令和〇年〇月〇日 (〇)	場所	1年〇組 教室
クラス	1年〇組 (〇〇人)	授業者	〇〇 〇〇
科目名	言語文化	単元名	異なる考えの比較
使用教材	「古典と注釈」 「英語で読む百人一首」	使用教科書	『高等学校 言語文化』 数研出版
教材観	<p>「古典と注釈」では、『古今和歌集』掲載の「ちはやぶる」の和歌を取り上げ、その注釈（宗祇の『百人一首宗祇抄』と賀茂真淵の『うひまなび』）を読み比べる活動を通して、「ちはやぶる」の和歌の二義性を学習できる。また、「英語で読む百人一首」では「ちはやぶる」の和歌の英訳を取り上げ、日本語の和歌と読み比べる活動を通して、日本語の和歌特有の表現について学習できる。</p> <p>したがって、和歌に対する理解を深めるとともに、多様なアプローチを試みるための教材としてふさわしい。</p>		
生徒観	<p>授業中のつぶやきや質問、教員の問いかけに対する反応などが活発なクラスだが、全体的に古典に苦手意識をもっており、一部の生徒は集中して授業に取り組むことが難しい。</p> <p>前の単元では『伊勢物語』を扱い、和歌や在原業平について学習している。</p> <p>クラスの半数が音楽選択者であり、以前の授業で、和歌（明けぬれば暮るるものとは知りながらなほ恨めしきあさぼらけかな）の情景を音楽で表現する（旋律創作をする）という言語活動を行っている。</p>		
指導観	<p>古典を読むために必要な知識や技能を身に付けさせるとともに、学校行事とも関わらせて、和歌の魅力を伝えたい。</p> <p>古典分野の授業の中で、音楽や絵画、英訳を取り入れることで、古典に苦手意識をもっている生徒でも楽しく学び、理解を深められるように工夫したい。なお、第一時は音楽との教科横断授業となっている。</p>		

1 単元の目標

- (1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 [知識及び技能] (2)ウ
- (2) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] B(1)ア
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 「学びに向かう力, 人間性等」

2 単元の言語活動

和歌を読み、英訳との比較を通して、和歌特有の表現や解釈の違いについて話し合う。

(関連：[思考力, 判断力, 表現力等] B (2) エ)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ((2)ウ)	① 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 (B(1)ア)	① 授業プリントに取り組む際に、和歌特有の表現について理解を深められるよう、進んでさまざまなコンテンツと比較する中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 指導と評価の計画 (全3時間)

次	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
第1次 (1時間)	○『古今和歌集』の詞書と「ちはやぶる」の和歌の内容を読み取る。 ○『伊勢物語』の詞書と比較して違いを理解する。	[知識・技能] ①	「記述の点検」
第2次 (1時間)	○宗祇の『百人一首宗祇抄』と、賀茂真淵の『うひまなび』を読み取る。 ○葛飾北斎の『百人一首姥がゑとき』を見て、「水くぐる」説が採られていると判断し、説明する。	[思考・判断・表現] ①	「行動の観察」
第3次 (1時間)	○「ちはやぶる」の和歌の英訳を読み、英訳の特徴を考える。 ○「ちはやぶる」の和歌と英訳を比較して、和歌特有の表現を理解する。	[知識・技能] ① [主体的に学習に取り組む態度] ①	「記述の確認」

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○『古今和歌集』と『伊勢物語』の「ちはやぶる」の詞書を読み、和歌が詠まれた背景の違いを理解する。	・複数のテキストを読み比べることで、「ちはやぶる」の和歌について理解を深めることを意識させる。 ・詞書次第で和歌の印象が変わることを意識させる。	[知識・技能] ① 「記述の点検」学習プリント2 ・記述の内容を点検する。
2	○宗祇の『百人一首宗祇抄』と賀茂真淵の『うひまなび』を読み、「ちはやぶる」の和歌の「水くぐる」説と「水くくる」説を理解する。 ○葛飾北斎の『百人一首姥がゑとき』を見て、絵画の特徴から「水くくる」説が採られていると判断し、説明する。	・二つのテキストを読み比べることで、「ちはやぶる」の和歌の二義性を学習させる。 ・学習したことを踏まえて、絵画を見ることで、適切に判断するように意識させる。	[思考・判断・表現] ① 「行動の観察」 ・グループワークを観察する。

3	<p>○「ちはやぶる」の和歌の英訳を読み、英訳の特徴を考える。</p> <p>○「ちはやぶる」の和歌と英訳を比較して、和歌特有の表現を理解する。</p> <p>○単元を通して学習したことや疑問に思ったことをまとめて論述する。</p>	<p>・英語の学習や、辞書、文法書を参考にするように指示する。</p> <p>・あまり英語の内容が中心にならないように注意する。</p> <p>・評価の項目を記入する際に、授業の振り返りをしながら、客観的に自己評価することを促す。</p>	<p>[知識・技能] ① 「記述の確認」学習プリント4</p> <p>・記述の内容を確認する。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ① 「記述の確認」学習プリント1</p> <p>・記述の内容を確認する。</p>
---	--	---	---

《本授業における評価の実際》

5 観点別学習状況の評価の進め方

共通必修科目「言語文化」の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕「B読むこと」に関する指導については、「内容の取扱い」(1)イに「40～45単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導するとともに、古典における古文と漢文の割合は、一方に偏らないようにすること」と示されている。このことを踏まえ、本単元では、「B読むこと」に関する資質・能力を目標として掲げ、単元のまとまりの中でその育成を重点的に図る指導と評価の計画を示している。

(1) [知識・技能] の評価

[知識・技能]①の「古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できている」状況を、「本文を読み、学習プリントの問題を正しく理解している」姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉え、学習プリントへの記述を点検して評価する。

学習プリントの問題について理解を深めることができていない状況を C と捉え、個別に声をかけて、ヒントとなる本文の記述を示したり、語句の意味をペアで共有したりするよう促す。

(2) [思考・判断・表現] の評価

[思考・判断・表現]①の「文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている」状況を、「本文の内容に基づいて、考えを発言している」姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉え、授業中の発言を観察して評価する。

本文の内容に基づいて、考えを発言できていない状況を C と捉え、個別に声をかけて、ヒントとなる本文の記述を示したり、語句の意味をペアで共有したりするよう促す。

(3) [主体的に学習に取り組む態度] の評価

[主体的に学習に取り組む態度]①の「授業プリントに取り組む際に、和歌特有の表現について理解を深められるよう、さまざまなコンテンツと比較する中で、自らの学習を調整しようとしている。」状況を、「授業プリントに取り組む際に、和歌特有の表現について理解を深められるよう、自らの学習を調整しようとしている」姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉え、振り返りシートの記述を確認して評価する。

本単元を基にした気づきや学びがまとめられず、努力を要すると判断する状況を C と捉え、振り返りシートの評価項目を参考に、単元を通して気づきや学びがどこかにないか探るよう促す。

6 学習指導案(1時間目/全3時間)

本時の目標：ア. 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 [知識及び技能] (2)ウ

言語活動：「ちはやぶる」の和歌をテーマにした楽曲を聞き、和歌が詠まれた背景が二つあることを理解する。

本時の展開：

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 10分	<input type="checkbox"/> 前単元の内容を確認する。 <input type="checkbox"/> 単元の目標や進め方を確認する。 <input type="checkbox"/> 楽曲を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 『伊勢物語』で学習した、和歌の特徴や在原業平について復習する。 MetaMoJi ClassRoom に配布したプリントの単元の目標を確認して、本時は二つのテキストを読み比べて、「ちはやぶる」の和歌の背景について理解を深めるのだと意識する。 「ちはやぶる」の和歌をテーマにした楽曲を歌詞に注目しながら聞き、「ちはやぶる」の和歌のイメージを膨らませるとともに、和歌が詠まれた背景が二つあることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容を本時の学習と既習事項を織り交ぜたものとした。 楽曲は学習プリントに添付しておく。
展開① 20分	<input checked="" type="checkbox"/> 本文を読み、学習プリントに取り組む。 <input type="checkbox"/> 学習プリントの解答をペアで確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読み、プリントの問題に解答する。 ペア学習の隊形になり、学習プリントの解答をペアで確認する。指名された者はホワイトボードに解答を書きに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> MetaMoJi ClassRoom 上でプリントを「生徒同士で見られる」状態に設定しておき、生徒は他者を参照しながら問題を解く。 モニタリング機能で生徒の進捗を確認し、適宜机間指導する。 <p>【本時の目標アに対する評価規準と評価方法】</p> <p>規準：本文を読み取り、問題に答えられている。</p> <p>方法：「記述の点検」(MetaMoJi ClassRoom)</p> <p>[状況Cに対する手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアワークで答えを確認する。
展開② 15分	<input type="checkbox"/> 解説を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 教員の解説を聞き、学習プリントの解答を確認しながら、本文の内容を理解する。 	
まとめ 5分	<input type="checkbox"/> 本時の内容をまとめる。 <input type="checkbox"/> 次回の内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 詞書次第で、和歌の印象が変わることを理解する。 次回「ちはやぶる」の和歌自体に二義性があることを理解することが目標であると知る。 	

・楽曲の創作については、まず授業者が書いた歌詞を「Gemini (無料版)」で七五調を整え、「Suno (無料版)」で音楽と歌唱を付した。